

図書館においてある本の中から
おすすめの本をピックアップ。
バラエティに富んだ本を紹介します。

ぼく、仮面ライダーになる！
ウィザード編 のぶみ 作



「幼稚園なんか行きたくない」と思っていたかんたろう。ところが幼稚園に怪物が現れてお友だちが大ピンチに。どうする、かんたろう。

TAKANOSU LIBRARY

町立 鷹巣図書館

TEL0996-86-1111

SASUE LIBRARY

町立 指江図書館

TEL0996-88-6500



うちの犬、知りませんか？

たかぎ なおこ 著

小学校に迷い込んできた、やせっぽちの犬「ムク」。一目会った時から、家族になって分かった。ムクとの16年間の物語です。

Pick Up publication

長島 文芸

Naoshima Bungai
ながしまぶんげい

明神俳句会

嘯まず食ふこのやはらかき煮大根
秋澄みて木霊を返す山の神
新米や離乳間近き子が笑ふ
秋澄むや珈琲の香とクロワッサン
なにもなき水平線や冬夕焼
新米の指立て計る水の量
音絶えてたちまち暗む秋の暮
秋澄みて青海原に鳥群るる
木枯しが海の匂ひをひるがへす
秋澄むやトビ高々と風に舞う
秋澄みて天草灘に魚船みゆ

淵脇 護
筑前 初市
二階堂妙子
竹内 功
迫口 君代
大堂 早苗
中橋 藤七
関 佳代美
山寄加代子
大堂 正弘
二階堂恵子

長島短歌会

ジーパンを穿きてシャギーの髪型も吾には羨し八十路近き女
夜更けて仄かに匂ふ白朧明日は濁酒を作りしならむ
北風の過ぎし朝は堆く柿の葉寄する庭の日溜り
過ぎし日にスピード違反で止められし道の辺行く度思ひ馳せたり
冬枯れの荒地に薄まとまりて風吹くたびに細くなりゆく
「巨大戦艦大和」の長き放映に亡兄重なりて胸つまりたり
農に生き土作りこそ命ぞと語りぬし友は八十路を逝きぬ
空低く海渡り来し二羽の鶴群の端より引き返す見ゆ

榎平 頼子
米尾 和子
坂之下典子
中山タマエ
浜田美代子
浜畑 松枝
林 ヒロ
本田 幸子

創生短歌会

犬と行く散歩の道は海見へて吾の元気の証と思ふ
松元 睦子
グランドに風たち初めて寒ければ焚き火にあたり
つゲートボール競ふ 吉田 映子
旅行にて嫁が母にと買ひ来たる胡蝶蘭ずつしりと
仄かに温し 市尾 操
年の瀬の心のみ只忙しくて窓区切り舞ふ鳶を見て
岩下 ち江
年の瀬は老に淋しき床の間の千両も家族の顔も明るきに
岩下 房代

夢を見る少女の如くバス停の時間表見上げてコスモスは嘆く
竹之内重信
冬の日がすんと落ちて日が暮れて昭和前期の我は生きてる
宮元 司
雨の日の曇る車窓に移りゆくこの風景に妻は居らざり
野村 益信
木下みち歩み来ればこの秋のなごりの栗がひとつころがる
石原百合子
前ぶれもなく来る死よある時は華やきのごと憧れのごと
大塚 洋子
海原の小舟の様なわが暮し子等は巣立ちて妻と漂う
村上 義彦
今日は雨ゆつくりせん今朝寝せり誰にはばかりこともなき身の
山下 学

一般作品

短歌

一年の月日達のは早い事又年なのか困るなるかな
町田 末則
見上げればもうすぐ頂上苦しさに岩間に小さき白
き花咲く
中飯屋辰子
吾が描きし色鉛筆画見て落ち付くるこの寒さかな
宗方 正喜
妻は病み吾老いて細ぼそと落葉は宙に生き生きと舞う
天地 雪舞